



2018年3月期 決算説明会

2018年5月8日



株式会社 豊田自動織機



I. 決算

1. 決算のポイント
2. 当期の業績
3. 次期の業績予想

2018年3月期 決算のポイント

1. 当期の業績は、前期比で増収・増益

2. 当期の配当金は、前期から25円増配の150円
次期の配当金は、当期と同額を計画

3. 次期の業績は、増収・減益を計画
ただし、当期の特殊要因を除けば実質 増収・増益

業績<実績>

(単位:億円)

	17/3期	18/3期	増減	
				率
売上高	16,751	20,039	3,288	19.6%
営業利益	1,273	1,474	201	15.8%
税引前利益	1,819	2,098	279	15.3%
純利益	1,313	1,681	368	28.0%
1株当たり 純利益	420円78銭	541円67銭	120円89銭	-
1株当たり 配当金 (うち期末)	125円 (65円)	150円 (80円)	25円 (15円)	- (-)
配当性向	29.7%	*1 27.7%	-	-

*1 米国税制改正の影響を除くと30.4%

U S \$	108円	111円	3円	-
ユ ー ロ	119円	130円	11円	-

・既存事業の売上増に加え、物流ソリューション会社2社*2の子会社化
などにより、増収・増益

*2 バスティアン社(米)、ファンダランデ社(蘭)

・配当金を増加(前期125円 → 当期150円)

セグメント情報<実績>

上段:売上高 下段〔 〕:営業利益

(単位:億円)

		17/3期	18/3期	増減	率
自動車	車両	731	721	▲10	▲1.4%
	エンジン	900	987	87	9.6%
	カーエアコン用コンプレッサー	3,347	3,514	167	5.0%
	電子機器・鋳造品ほか	647	727	80	12.4%
	計	5,626 〔249〕	5,950 〔296〕	324 〔47〕	5.7%
産業車両	9,881 〔894〕	12,830 〔1,049〕	2,949 〔155〕	29.8%	
繊維機械	662 〔68〕	655 〔61〕	▲7 〔▲7〕	▲1.2%	
その他	580 〔60〕	603 〔66〕	23 〔6〕	4.0%	
合計	16,751 〔1,273〕	20,039 〔1,474〕	3,288 〔201〕	19.6%	

販売台数

(単位:千台)

		17/3期	18/3期	増減
自動車	RAV4	206	205	▲1
	ヴィッツ	101	93	▲8
車両計		307	298	▲9
エンジン	ディーゼル	294	330	36
	ガソリン	207	244	37
エンジン計		501	574	73
カーエアコン用 コンプレッサー	万台	3,255	3,342	87
産業車両		253	263	10
エアジェット 織機		6.9	6.3	▲0.6

車両 : 主にヴィッツの台数減により、売上高は減少

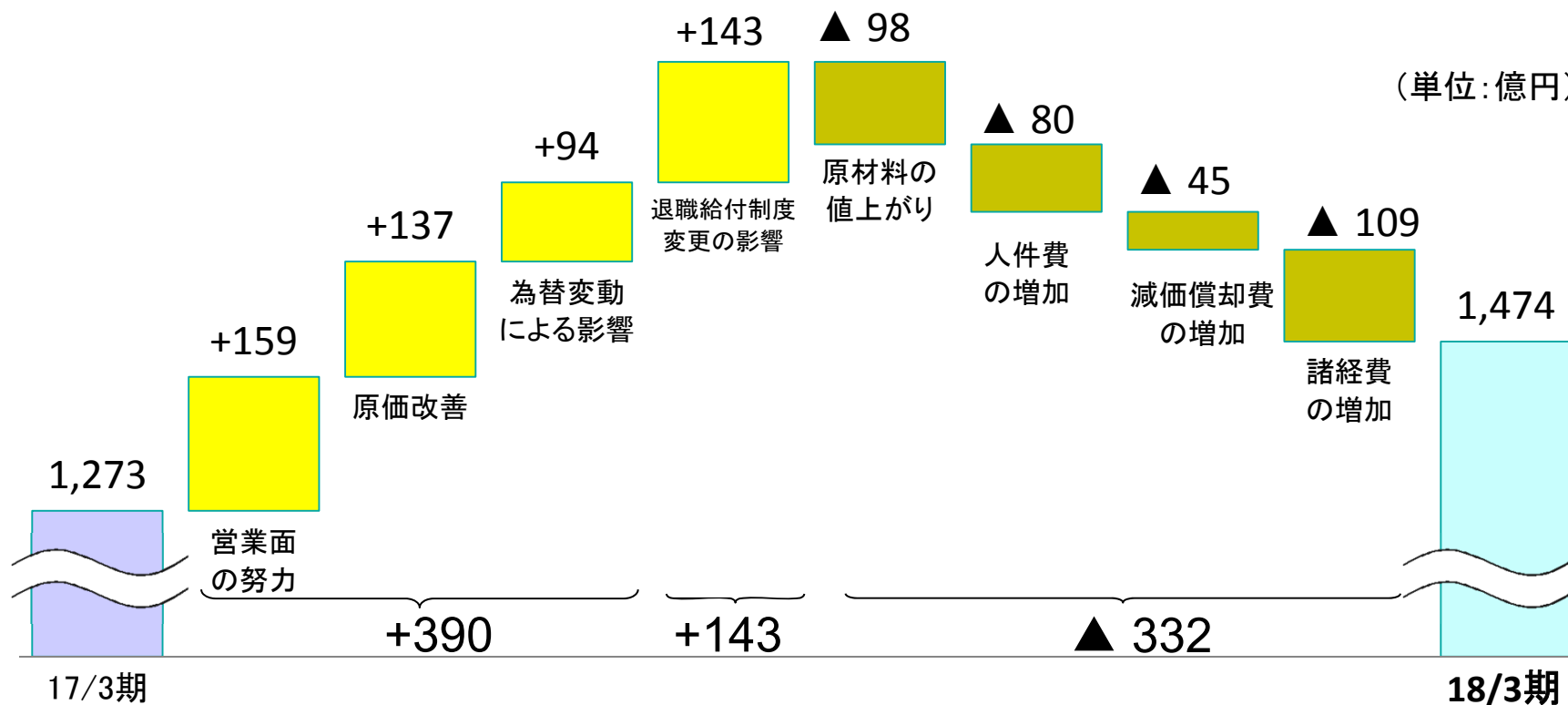
エンジン : AR型ガソリンエンジンやGD型ディーゼルエンジンの増加により売上高は増加

コンプレッサー : 国内、北米、中国などで増加したことにより、売上高は増加

産業車両 : 各地域での販売台数増加に加え、バスティアン社およびファンダランデ社の
子会社化などにより売上高は増加

営業利益の増減要因 <実績>

営業利益 +201億円 (1,273 → 1,474億円)



- ・各事業の販売台数の増加、原価改善に加え、退職給付制度の変更などが増益に寄与
- ・原材料の値上がりや人件費の増加が利益にマイナス

業績<実績>

(単位:億円)

	17/3期	18/3期	増減	
				率
設備投資	773	1,154	381	49.2%
減価償却費	732	777	45	6.1%

- ・設備投資は車両・エンジンを中心に自動車セグメントが増加

業績＜期末実績＞

(単位:億円)

	17/3期 期末	18/3期 期末	増減	
				率
資産合計	45,582 [*]	52,585 [*]	7,003	15.4%
資本合計	23,164	26,338	3,174	13.7%
1株当たり親会社 所有者帰属持分	7,215円37銭	8,223円82銭	1,008円45銭	—
親会社所有者 帰属持分比率	49.1%	48.6%	—	—
連結子会社数	207社	254社	47社	—

* 販売金融資産を含む(17/3期 期末:5,847億円 18/3期 期末:6,359億円)

- ・バスティアン社とファンダランデ社の新規連結、投資有価証券の時価評価増加などにより、資産合計は増加

業績＜次期予想＞

(単位:億円)

	18/3期	19/3期予想	増減	
				率
売上高	20,039	21,500	1,461	7.3%
営業利益	1,474	1,350	▲124	▲8.4%
税引前利益	2,098	1,890	▲208	▲9.9%
純利益	1,681	1,460	▲221	▲13.2%
1株当たり 純利益	541円67銭	470円23銭	▲71円44銭	—
1株当たり 配当金 (うち期末)	150円 (80円)	150円 (75円)	— (▲5円)	— —
配当性向	27.7%	31.9%	—	—
US\$	111円	105円	▲6円	—
ユ—口	130円	130円	—	—

セグメント情報<次期予想>

上段:売上高 下段〔 〕:営業利益

(単位:億円)

		18/3期	19/3期	増減	率
自動車	車 両	721	690	▲31	▲4.3%
	エンジン	987	1,100	113	11.4%
	カーエアコン用コンプレッサー	3,514	3,610	96	2.7%
	電子機器・鋳造品ほか	727	750	23	3.1%
	計	5,950 〔296〕	6,150	200	3.4%
産業車 両	12,830 〔1,049〕	14,100	1,270	9.9%	
繊維 機械	655 〔61〕	650	▲5	▲0.8%	
その他	603 〔66〕	600	▲3	▲0.6%	
合計	20,039 〔1,474〕	21,500 〔1,350〕	1,461 〔▲124〕	7.3%	

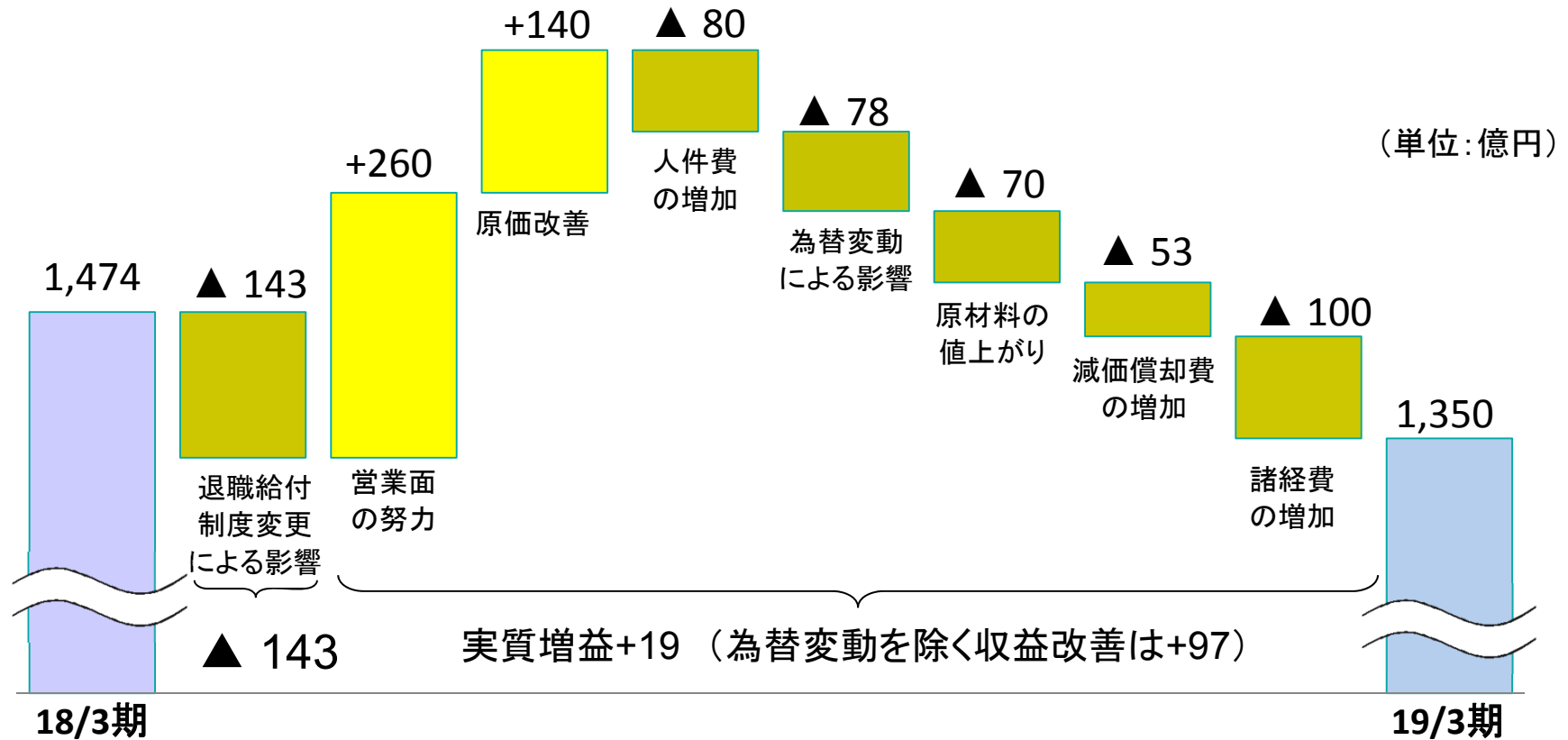
販売台数

(単位:千台)

		18/3期	19/3期	増減
RAV4 ヴィッツ		205	237	32
		93	48	▲45
車両 計		298	285	▲13
ディーゼル ガソリン		330	403	73
		244	222	▲22
エンジン 計		574	625	51
カーエアコン用 コンプレッサー	万台 3,342	万台 3,540	万台 198	
産業車 両	263	294	31	
エアジェット 織 機	6.3	6.2	▲0.1	

営業利益の増減要因 <次期予想>

営業利益 ▲124億円 (1,474 → 1,350億円)



業績＜次期予想＞

(単位:億円)

	18/3期	19/3期	増減	
				率
設備投資	1,154	1,100	▲54	▲4.7%
減価償却費	777	830	53	6.8%

Ⅱ. 中期的な取り組み

産業車両

コンプレッサー

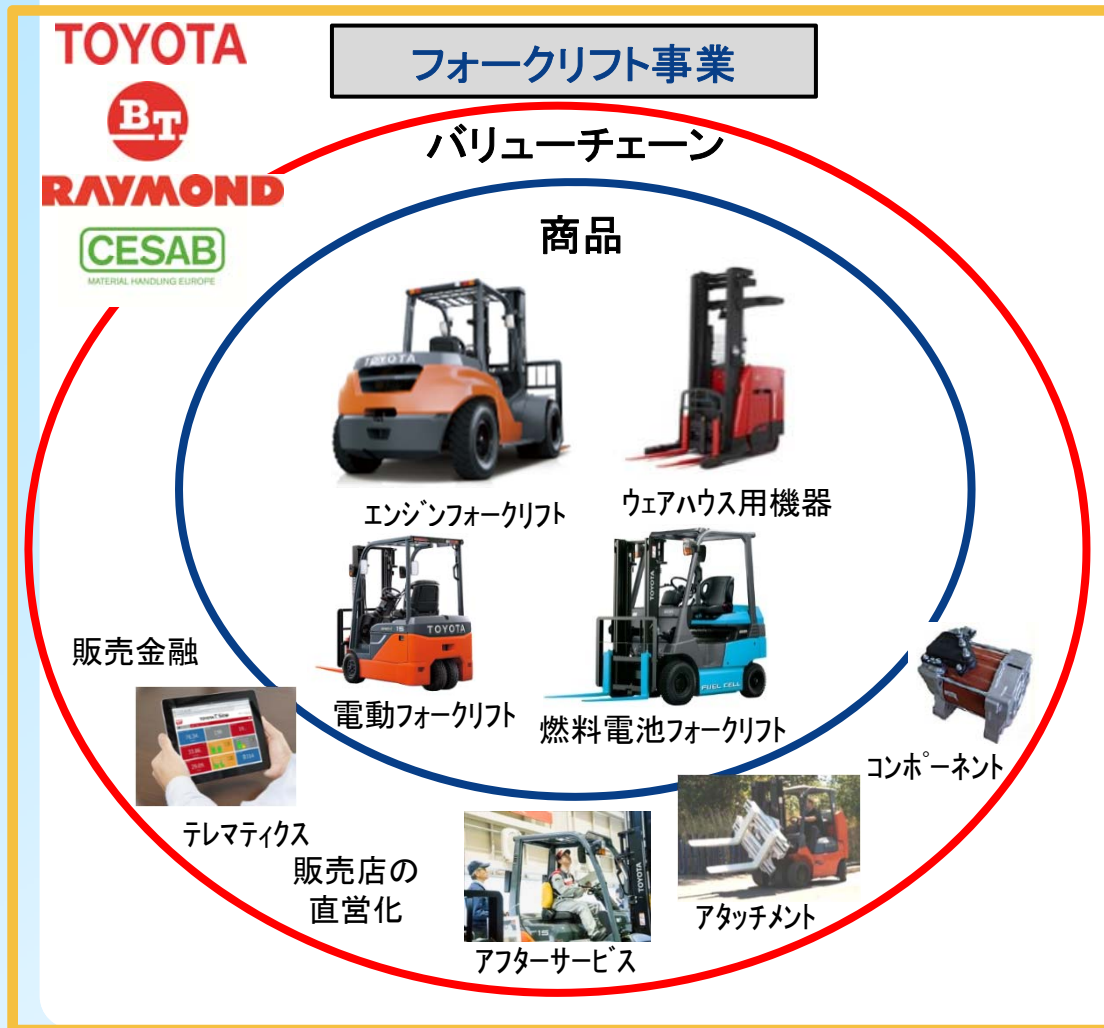
1. 産業車両の事業構成
2. フォークリフトの販売
3. フォークリフト事業のバリューチェーン
4. 物流ソリューション事業
5. 中期的な事業成長

産業車両

1. 産業車両の事業構成

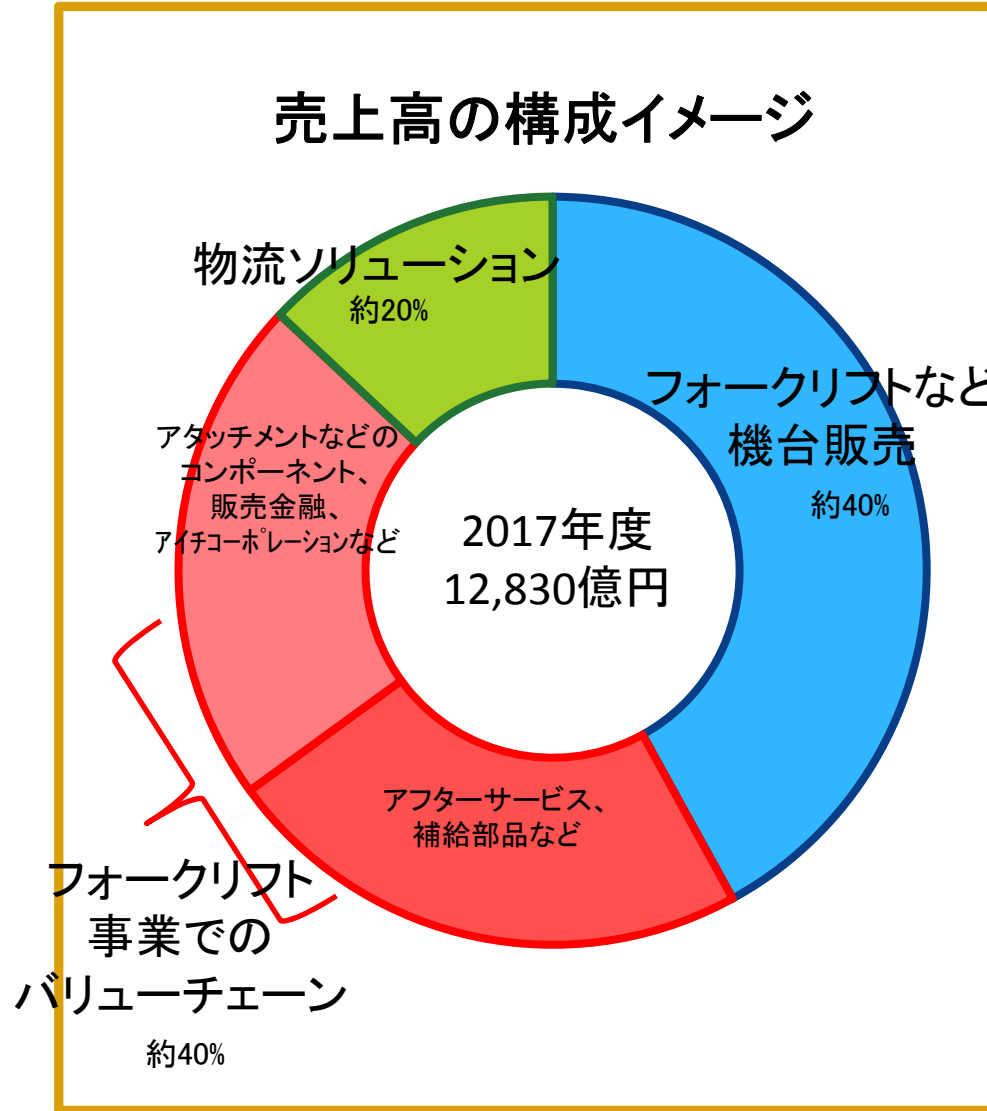
- ・フォークリフトを中心としたバリューチェーンの拡大
- ・物流ソリューション事業の強化

体制の整備はほぼ完了



産業車両

1. 産業車両の事業構成



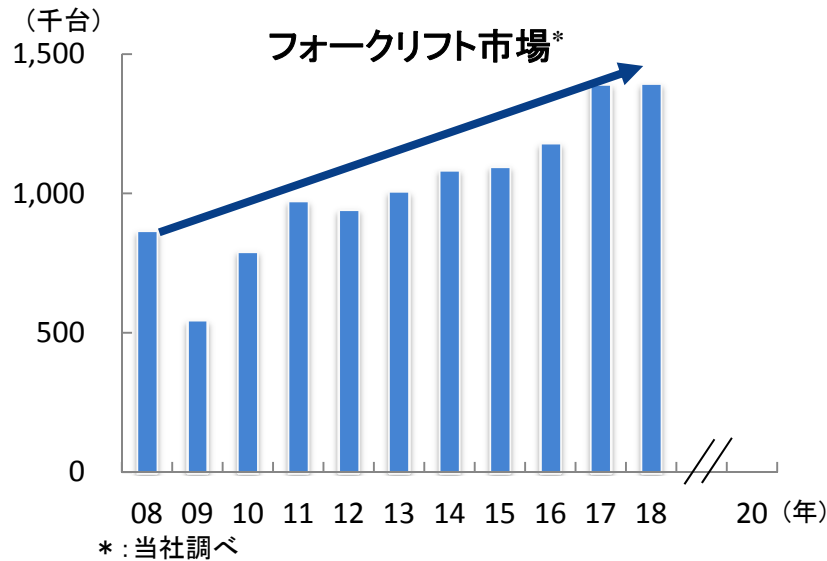
今後の重点 取り組み

- ・市場のニーズを捉えたフォークリフトの拡販
- ・バリューチェーン拡大の成果最大化
- ・物流ソリューション事業のグローバルでの拡大・強化

産業車両

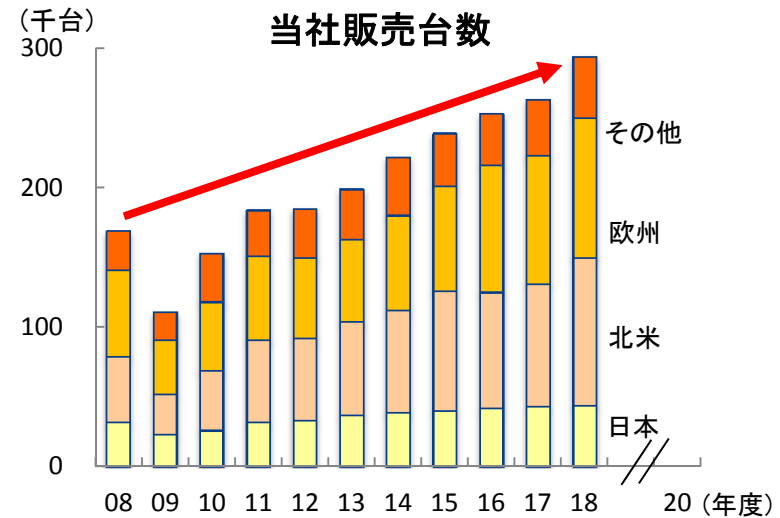
2. フォークリフトの販売

市場のニーズを捉えた フォークリフトの拡販



市場は緩やかな成長を持続

- 堅調な世界経済に支えられ引き続き緩やかに拡大
- eコマース市場の拡大による新規需要を含め、物流量はグローバルで増加



商品力や充実した ネットワークを強みに拡販

- お客様の多様なニーズにお応えする高品質で幅広い商品の開発
- 充実したネットワークを活用した拡販
- お客様の物流課題にお応えする提案型営業

産業車両

3. フォークリフト事業のバリューチェーン

バリューチェーン拡大の 成果最大化

サービス

- ・ 販売ネットワークの直営化
⇒ ライフサイクルを通じたメンテナンスや補給部品などのサービス提供による収益取り込み
- ・ テレマティクス活用による物流改善の提案
⇒ 機台運用の効率化、事故低減、省燃費運転、自動化



販売金融

- ・ グローバルでの自社対応の拡大 ⇒ リース・レンタルニーズの取り込み

コンポーネント

- ・ 内製のエンジンやモーター、コントローラの商品力強化
⇒ エンジン車・電動車とも性能面で一層の差別化



新興国対応

- ・ タイリフト社の活用 ⇒ 中国など中～低価格帯市場の対応強化



産業車両

4. 物流ソリューション事業

物流ソリューション事業の グローバルでの拡大・強化

- ・ ファンダランデ社を核に、当社およびバスティアン社の強みを活かして地域軸・機能軸での協業を推進



ファンダランデ社の足元のビジネスは好調に推移

1) 物流センター

オランダ生鮮食品流通業者のシステムを受注
シャトルシステムとケースピッキングシステムの組み合わせにより
高効率な倉庫内物流を実現



2) 空港バゲージハンドリング

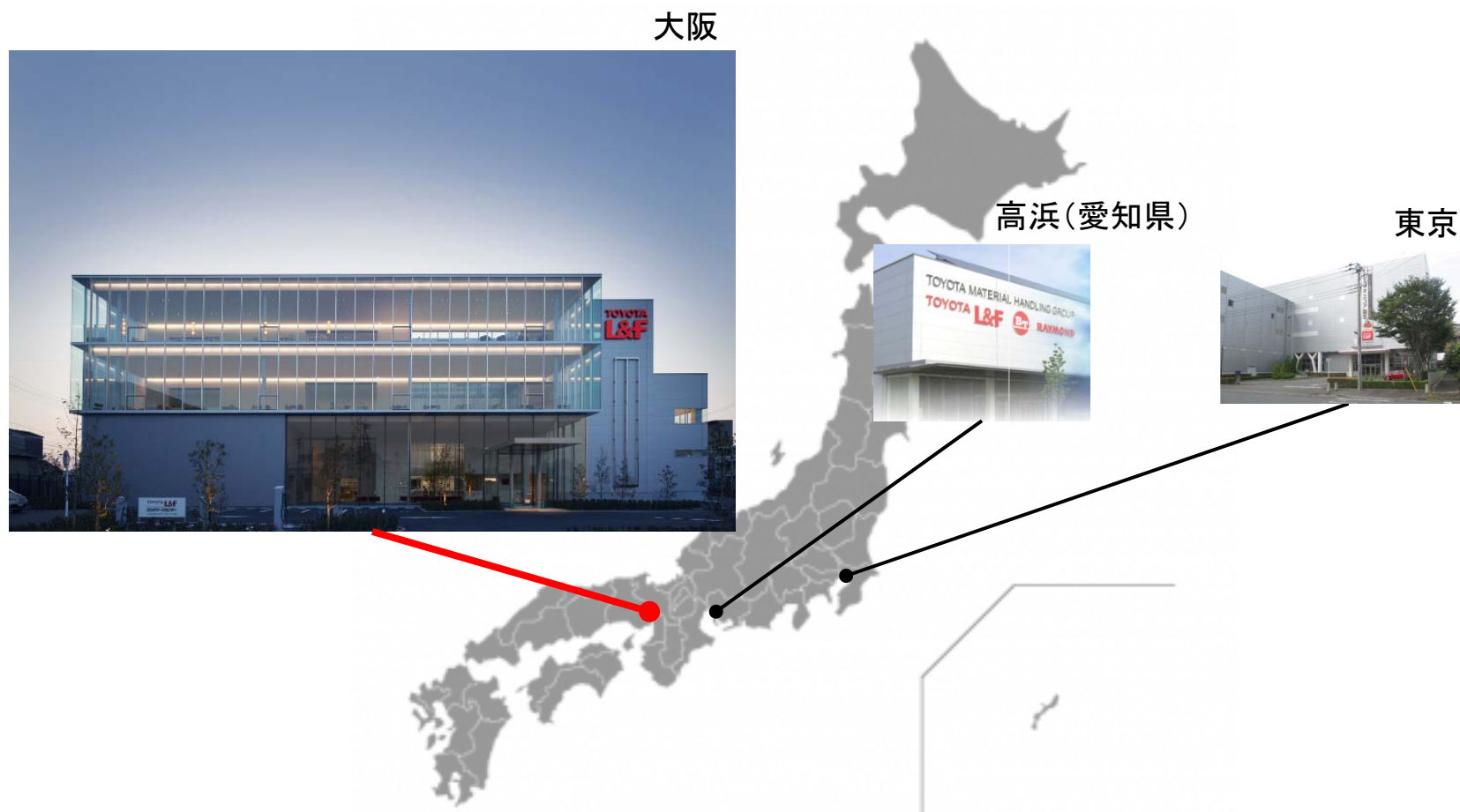
ロッテルダムハーグ空港に自律走行型AGVによるバゲージハンドリングシステムを世界初導入
効率的な手荷物搬送とレイアウトの柔軟性など
革新的なシステム



産業車両

2018年6月にカスタマーズセンター大阪を開設

- ・西日本地区のお客様への対応力強化
- ・機台とソリューションを組み合わせた物流課題解決策のご提案

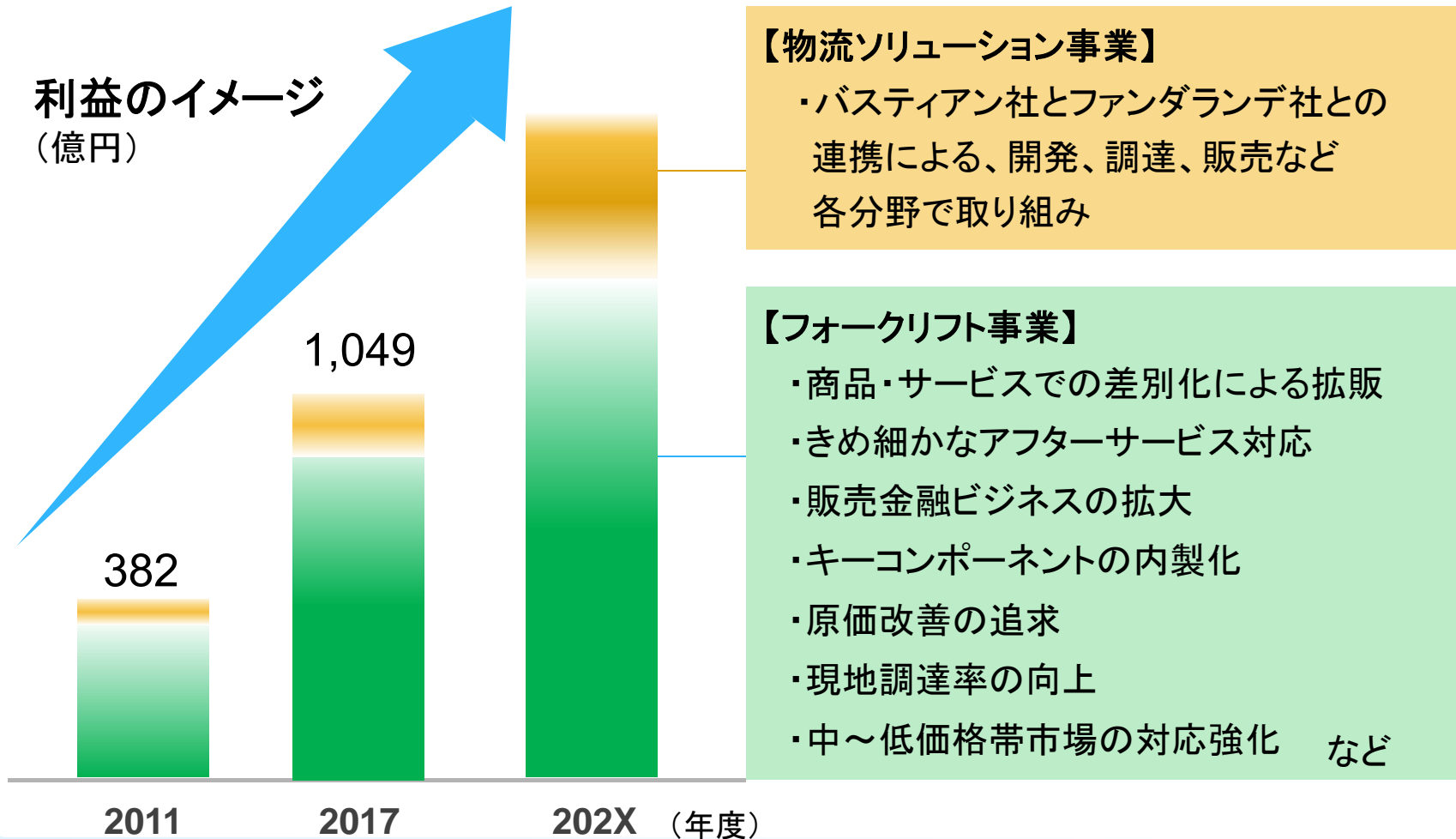


産業車両

5. 中期的な事業成長

フォークリフト事業に物流ソリューション事業を加え、
全体でのさらなる成長をはかる

利益のイメージ
(億円)



Ⅱ. 中期的な取り組み

産業車両

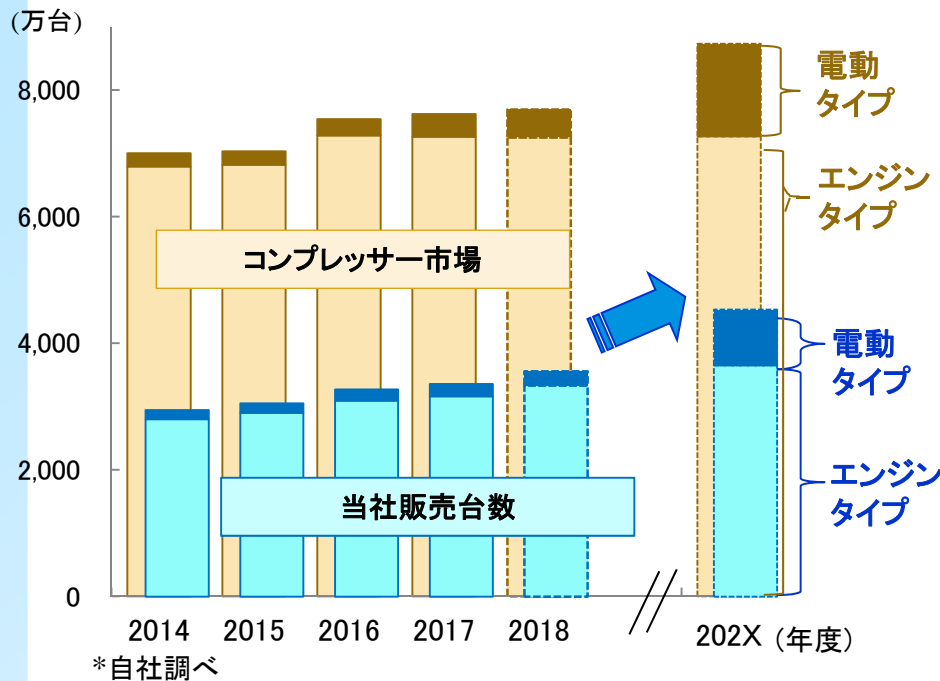
コンプレッサー

1. コンプレッサーの市場動向と当社対応
2. 各タイプにおける強み
3. 開発面での取り組み
4. 生産面での取り組み
5. 既存技術での差別化と新領域への応用

コンプレッサー

1. コンプレッサーの市場動向と当社対応

コンプレッサー市場*と当社販売台数



コンプレッサー市場は持続的に成長

自動車市場拡大

カーエアコン装着率向上

- ・当面はエンジンタイプが主流
- ・中長期的には電動タイプ増加が見込まれる

これまでに培った独自の
リソースを両タイプへ投入

人材

技術・ノウハウ

内製設備

資金

業界全体では
電動タイプへ集中

エンジンタイプ




当面の主流として注力
商品力の優位性をさらに
強化しシェア50%をめざす

電動タイプ

今後見込まれる需要拡大に着実に対応
エンジンタイプよりさらに高いシェアを活かし
電動車市場の拡大を取り込む

コンプレッサー

2. 各タイプにおける強み

	エンジン車		電動車 (HV・PHV・EV・FCV)
	固定タイプ 	可変タイプ 	電動タイプ 
特徴	エンジンの動力で駆動		内蔵モーターで駆動
	冷房能力が一定の スタンダードタイプ	冷房能力の自動調整で 省燃費を実現	HVやPHVのアイドル ストップ時なども含め、 常に快適空調が可能
強み ・ 拡販方針	信頼性の強みに加え 価格競争力を強化し 新興国中心に供給	優れた省燃費性能と グローバルでの 安定した生産性を強みに 先進国中心に拡販	機械・電機の両技術と 安定したモノづくり力で 電動車市場の拡大を 確実に取り込む

コンプレッサー

3. 開発面での取り組み

- ・車載用に求められる**厳しい適合要件**に高いレベルで対応
- ・世界のカーメーカーとの**すり合わせ**を通し、信頼性の高い商品を開発

エンジン・電動 共通

実車環境での評価により
車載に**最適な性能**を実現

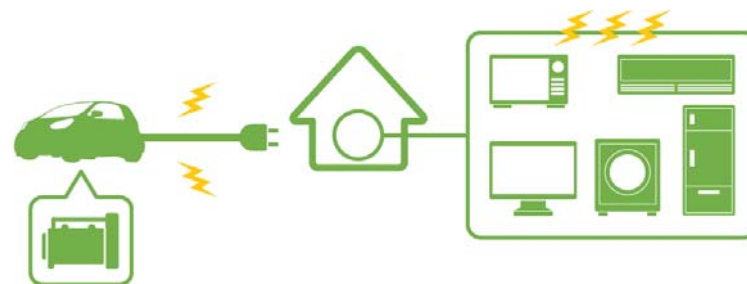
- ・市場での使用状況を実車実験で把握し、**高い省燃費性能や信頼性**を実現
- ・シミュレーションと実験評価の両ノウハウを活かした**車両適合**



電動タイプ

クルマの電動化黎明期における
電動タイプの**プラットフォーム作り**

- ・トップシェアを強みに**世界のカーメーカーと緊密に連携**しニーズにきめ細かく対応
- ・電圧のバリエーションなど幅広い仕様への**対応**
- ・充電時における家電への**電波障害防止**



コンプレッサー

4. 生産面での取り組み

燃費規制対応に伴い、エンジン・電動ともに
複雑化する製品を安定供給するモノづくり力で差別化

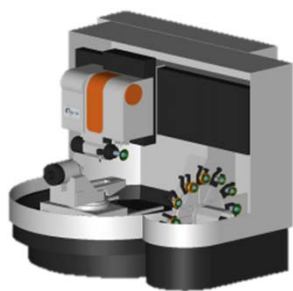
エンジン・電動 共通

電動タイプにも不可欠な加工技術で
差別化

- ・自社開発の設備や刃具による
高速・高精度な機械加工

⇒ 従来比で
加工精度を2倍、加工時間を半減

刃具加工機



内製刃具

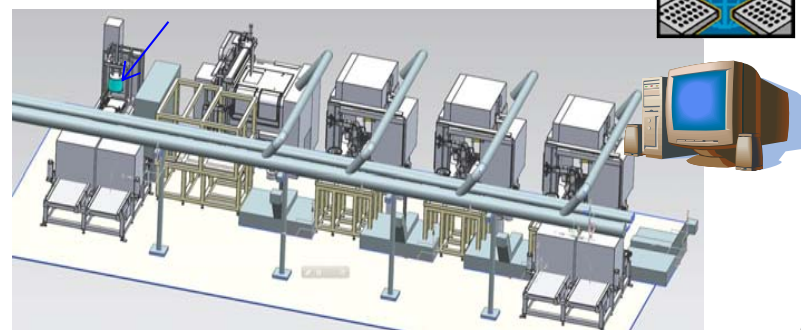


エンジン・電動 共通

IoT活用で、品質のバラツキを
最小化

- ・マザー工場と海外拠点を繋ぎ、
工程ごとにきめ細かくデータ管理

⇒グローバルでの品質安定化



各ラインの重要品質特性を管理

コンプレッサー

5. 既存技術での差別化と新領域への応用

既存領域

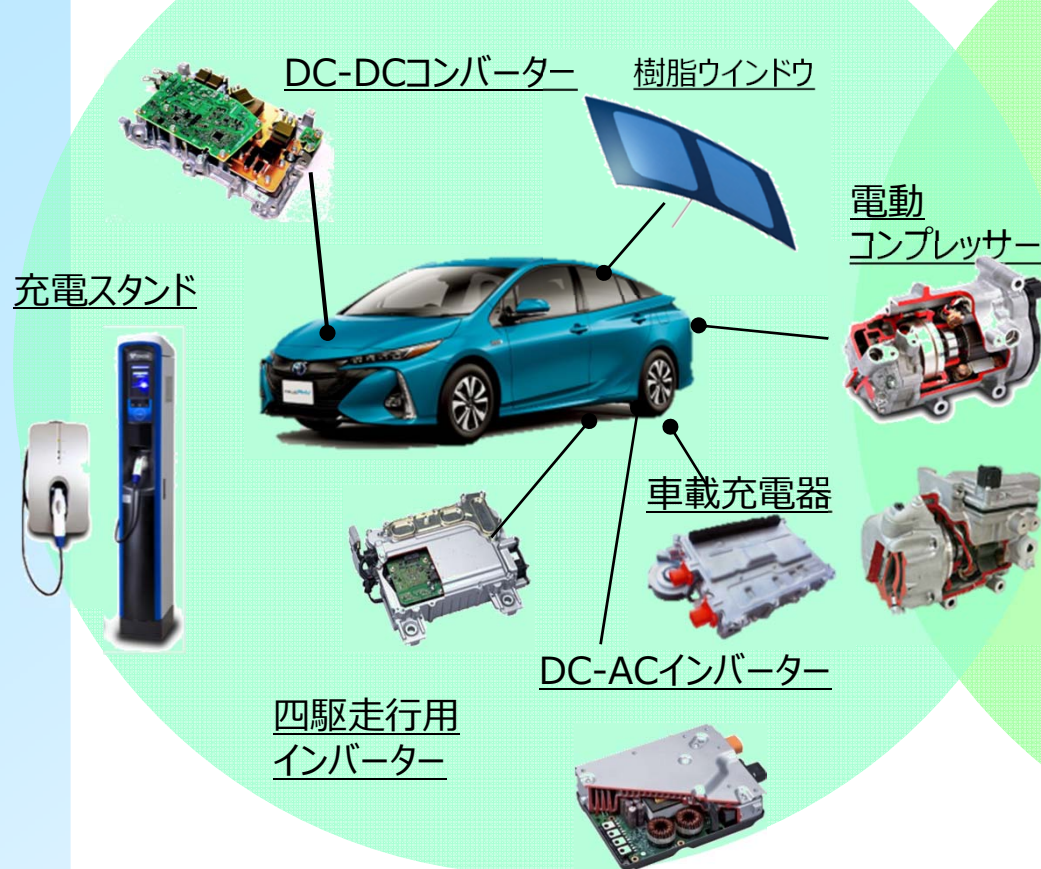
- ・小型化、軽量化の追求
- ・省燃費性の追求
内製のモーターやインバーターなどの商品力向上
- ・電動化で一層重要となる静粛性・低振動の優位性向上
実車環境を再現した内製の設備による徹底した評価

新領域

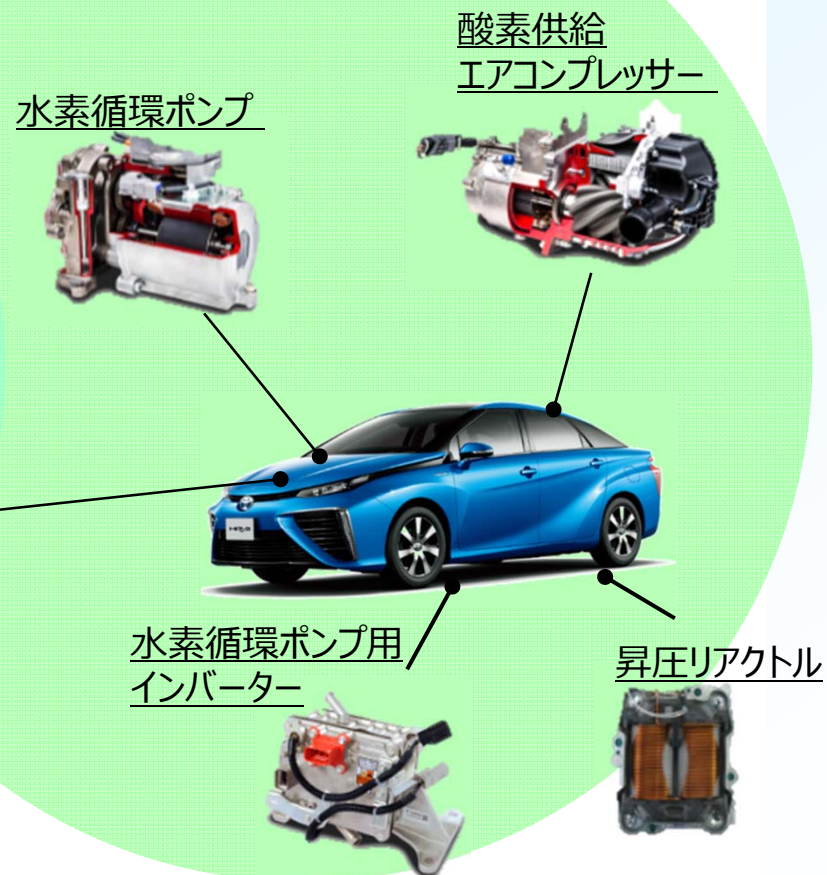
- ・クルマのさらなる電動化や自動運転化への対応
車室内空調だけでなく、電子機器や電池など熱を発生する部品の冷却機能を担うコンプレッサーを開発
- ・コンプレッサーの圧縮技術を応用した新商品開発
燃料電池車向け 酸素供給エアコンプレッサー、水素循環ポンプ

電動車に搭載されている当社商品

「HV、PHV、EV」



「FCV」



電源機器から軽量化部品まで幅広い要素技術でクルマの電動化に貢献

トピックス

中国での環境規制強化に伴う当社エアジェット織機の需要増

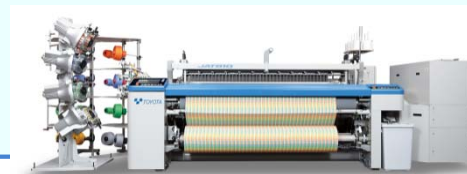
<背景>

- ・中国江蘇省呉江地区（同国最大の化繊織物産地）で、
ウォータージェット織機の排水に対し、2017年より規制強化
- ・低性能なウォータージェット織機が稼動する工場で、適切な排水処理が義務化
- ・水を使用しない **エアジェット織機**への買い替え需要が発生

<当社への影響>

- ・中国市場で省エネ性とプレゼンスの高い当社製**エアジェット織機**の販売を促進
- ・18年度に、年間 数百台規模の**受注増**の可能性

今後の中国市場の規制強化次第で、環境性能の高い商品を販売する**産業車両**や**コンプレッサー**など他事業でも、**拡販のチャンス**あり



エコロップ
(当社エコキャラクター)

将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみで全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。

実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。